

# II 虐待を早期に発見するポイント

一般的に高齢者虐待は家庭内という密室の中で行われることが多く、なかなか周りからは発見しにくいものです。

また、発見しにくい理由としては、虐待されている高齢者が家族をかばったり、虐待されてもその人の介護に依存せざるを得ず、自ら虐待の事実を訴えづらいついとか、社会的対面や自尊心から沈黙することや、虐待者自身が自らの行為を虐待として認識していなかったり、外部への相談をためらったり、あるいは、相談窓口を知らないなどが考えられます。

虐待は決して許されるべき行為ではありません。しかし、過度の介護疲れや精神的負担、経済の困窮など様々な要因で虐待を起こしてしまい、自責の念に苛まれている家族や介護者もいるものと思われれます。このため、虐待を受け心身ともに追いつめられている高齢者を早期に発見し、高齢者への早期支援が必要です。

高齢者福祉に携わる者の早期発見のポイントとしては、日頃から高齢者や家族（介護者）の発するサインを見逃さないようにすることです。

虐待が疑われる場合の高齢者の発する「サイン」としては、以下のものがあります。複数のものにあてはまると、疑いの度合いはより濃くなってきます。これらは例示ですので、この他にも様々な「サイン」があることを認識しておく必要があります。

ただし、これらのサインはあくまでも目安であり、数項目該当するからといって即座に虐待として対応するのは大変危険であり、トラブルを起こしかねません。キズ、あざ等の事実に基づかない事例については、慎重にあたるべきです。特に、高齢者本人からの訴えによるものについては、慎重に扱う必要があります。

客観的に見て虐待が疑われ、調査・確認を要するものについては、関係機関や専門家等との連携により十分な検討を行い、対応することが必要になります。

## 1 身体的暴力による虐待のサイン

サイン例	チェック欄
身体に小さなキズが頻繁にみられる。	
大腿の内側や上腕部の内側、背中等にキズやみみずばれがみられる。	
回復状態が様々な段階のキズ、あざ等がある。	
頭、顔、頭皮等にキズがある。	
臀部や手のひら、背中等に火傷や火傷跡がある。	
急におびえたり、恐ろしがったりする。	
「怖いから家にいたくない」等の訴えがある。	
キズやあざの説明のつじつまが合わない。	
主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する。	
主治医や保健、福祉の担当者に話す内容が変化し、つじつまがあわない。	

## 2 心理的障害を与える虐待のサイン

サイン例	チェック欄
かきむしり、噛み付き、ゆすり等がみられる。	
不規則な睡眠（悪夢、眠ることへの恐怖、過度の睡眠等）を訴える。	

身体を萎縮させる。	
おびえる、わめく、泣く、叫ぶなどの症状がみられる。	
食欲の変化が激しく、摂食障害（過食、拒食）がみられる。	
自傷行為がみられる。	
無力感、あきらめ、投げやりな様子になる。	

### 3 性的暴力による虐待のサイン

サイン例	チェック欄
不自然な歩行や座位を保つことが困難になる。	
肛門や性器からの出血やキズがみられる。	
生殖器の痛み、かゆみを訴える。	
急に怯えたり、恐ろしがったりする。	
ひと目を避けるようになり、多くの時間を一人で過ごすが増える。	
主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する。	
主治医や保健、福祉の担当者に話す内容が変化し、つじつまが合わない。	
睡眠障害がある。	
通常的生活行動に不自然な変化が見られる。	

### 4 経済的虐待のサイン

サイン例	チェック欄
年金や財産収入等があることは明白なのにもかかわらず、お金がないと訴える。	
自由に使えるお金がないと訴える。	
経済的に困っていないのに、利用負担のあるサービスを利用したがない。	
お金があるのにサービスの利用料や生活費の支払いができない。	
資産の保有状況と衣食住等生活状況との落差が激しくなる。	
預貯金が知らないうちに引き出された、通帳がとられたと訴える。	

### 5 介護等日常生活上の世話の放棄、拒否、怠慢による虐待（自己放任含む）のサイン

サイン例	チェック欄
居住部屋、住居が極めて非衛生的になっている。また異臭を放っている。	
部屋に衣類やおむつ等が散乱している。	
寝具や衣服が汚れたままの場合が多くなる。	
汚れたままの下着を身につけるようになる。	
かなりのじょくそう（褥創）ができています。	
身体からかなりの異臭がするようになってきている。	
適度な食事を準備されていない。	
不自然な空腹を訴える場面が増えてきている。	
栄養失調の状態にある。	
疾患の症状が明白にもかかわらず、医師の診断を受けていない。	

## 6 家族の状況に見られるサイン

サイン例	チェック欄
高齢者に対して冷淡な態度や無関心さがみられる。	
高齢者の世話や介護に対する拒否的な発言がしばしばみられる。	
他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがみられる。	
高齢者の健康や疾患に関心がなく、医師への受診や入院の勧めを拒否する。	
高齢者に対して過度に乱暴な聞き方をする。	
経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対してお金をかけようとしない。	
保健、福祉の担当者と会うのを嫌うようになる。	

## 7 地域からのサイン

サイン例	チェック欄
自宅から高齢者本人や介護者・家族の怒鳴り声や悲鳴、物が投げられる音が聞こえる。	
昼間でも雨戸が閉まっている。	
庭や家屋の手入れがされていない、または放置の様相（草が生い茂る、壁のペンキがはげている、ごみが捨てられている）を示している。	
郵便受けや玄関先等が、1週間前の手紙や新聞で一杯になっていたり、電気メーターがまわっていない。	
電気、ガス、水道が止められていたり、新聞、テレビの受信料、家賃等の支払いを滞納している。	
気候や天気が悪くても、高齢者が長時間外にいる姿がしばしばみられる。	
家族と同居している高齢者が、コンビニやスーパー等で、一人分のお弁当等を頻繁に買っている。	
近所づきあいがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられる。	
配食サービス等の食事がとられていない。	
薬や届けたものが放置されている。	
道路に座り込んでいたり、徘徊している。	

## 8 その他のサイン

サイン例	チェック欄
通常的生活活動に不自然な変化がみられる。	
体重が不自然に増えたり、減ったりする。	
ものごとや自分の周囲に関して、極度に無関心になる。	
睡眠障害がみられる。	